

平成19年度第3回幹事会議事録

記録者：稲葉

日時：平成20年2月15日（金）15:00～17:00

場所：興和ビル 6F 会議室

出席者：早川，古川，渡部（直），堀田，佐藤，平出，山下，野崎，瀬戸，渡邊，稲葉（計11名）

1．第36回地すべりシンポジウムの準備について

日時・会場

稲葉幹事長より，総会・シンポジウムの会場として県民会館小ホールを，意見交換会の会場として白山会館をそれぞれ予約済みであることが報告された。会費については，会員2,000円，非会員3,000円，意見交換会5,000円に決定した。

シンポジウムの趣旨・概要，テーマ

「新潟県地すべり災害解析・解説書」の刊行に関連して，これまで新潟県内で先駆的に取り組まれてきた地すべり対策を総括する内容とする（第2回役員会決定事項）。また，テーマは「新潟県の地すべり災害と対策の歴史を学ぶ」に決定した。

講演依頼

上記解説書の執筆者にシンポジウムでの講演を依頼する（第2回役員会決定事項）。古川副幹事長より既に下記の3件の講演を依頼済みであることが報告された。

- ・地すべり災害記録の分析結果の紹介（早川）
- ・地すべり対策の取り組みの歴史の紹介（トピック的な事例やデータ紹介を中心としたものとする。県の幹事で講師を人選）
- ・新潟県内で先駆的に取り組まれた地すべり対策技術の紹介（古川）

また，以下のことを決定した。

- ・福本顧問と熊谷氏に，これまでの貴重な体験談等を紹介していただく。
- ・中村顧問に，新潟独自の取り組みを紹介していただく（基礎的なもの，レクチャー的なもの）

福本氏には野崎幹事が，熊谷氏と中村顧問には古川幹事長がそれぞれ依頼する。

講演時間，討論時間については，おおむね昨年同様とし，時間配分・スケジュールについては次回の幹事会で検討する。

当日配布する資料については，「新潟県地すべり災害解析・解説書」執筆担当部分のダイジェスト版的なものとする。原稿締切は5月連休前。印刷部数は100部程度とし，後で販売することは考えない。

本日の幹事会での決定を受けて，地すべり学会誌会告に掲載するための原稿（総会・シンポジウムの開催案内）を稲葉幹事長が作成する（別紙資料参照）。

役割分担等

それぞれ以下のように責任者を決定した。本日欠席している幹事に対しては，稲葉幹事長より分担を依頼することとなった。

編集：渡部（直）

庶務会計：渡邊

会場準備：瀬戸

意見交換会：山下

2．全国大会開催にむけて

渡部副幹事長より，全国大会開催にむけた準備のために，幹事会の下にワーキング・グループ（大会開催関連を専門に扱う事務組織，4～5名）を設けることが提案され，了承された。5月の支部総会において，メンバー募集のアナウンスを行うこととなった。

3．次期役員・幹事の選出について

稲葉幹事長より，全国大会開催を成功させるためにも，役員・幹事については現体制を継続することが提案された。早川支部長が退任の意向を示されたこともあり，この件は継続審議とする。

4．その他（別紙資料参照）

「新潟県地すべり災害解析・解説書」編集委員会からの報告

古川副幹事長より，本年度第3回会議の議事録をもとに，編集・出版計画，目次構成，執筆内容等について報告があった。

本書は，今後の地すべり研究・地すべり対策の発展へ寄与する目的で取り組まれていること，また，新潟での全国大会開催記念事業の一環と位置づけて取り組んでいるものであることから，本部に対して出版費用の一部支援を要請することとなった。この要請文については，古川副幹事長が案を作成する。